

| | | | |
|------|--|--|--|
| 受験番号 | | | |
|------|--|--|--|

令和2年度
鹿児島県職員採用試験（民間企業等職務経験者対象）
第1次試験

専門試験

〔解答時間 2時間〕

| | |
|------|-----|
| 試験区分 | 土 木 |
|------|-----|

- ※ 道路，河川，海岸，港湾から2科目選択して解答すること。
- ※ 答案用紙は科目ごとに別にすること。

【道 路】

道路工事における「プルフローリング」について，その目的及び概要について述べなさい。

また，本県における道路上の無電柱化は，平成29年度末現在，緊急輸送道路のうち，約1%（約25km）に留まっている。平成28年に「無電柱化の推進に関する法律（以下「無電柱化法」という。）」が成立・施行され，本県においては，「無電柱化法」に基づく「鹿児島県無電柱化推進計画」を令和2年3月に策定し，今後の道路上の無電柱化の基本的な方針，目標，施策等を定めたところである。そこで，「無電柱化」を優先すべき対象道路選定の考え方及び「無電柱化」を推進するにあたっての課題について，それぞれ述べなさい。

【河 川】

河川を横断して設ける施設である「床止め」の目的及び機能について述べなさい。

また，平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ，「施設では防ぎきれない洪水は発生する」との考えのもと，河川管理者，国，都道府県，市町村等からなる協議会が全国の各地域で設置されている。本県においても9地域において「水防災意識社会再構築協議会」を設置し，社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するソフト・ハード両面での取組を始めている。ハード対策の取組のうち，「危機管理型ハード対策」（いわゆる粘り強い堤防の整備）について，概要を述べなさい。

【海 岸】

海岸保全施設の1つである「離岸堤」の目的及び機能について述べなさい。

また，平成26年6月に改正された海岸法において海岸堤防等の「粘り強い構造」が位置づけられ，「粘り強さ」を発揮できるよう，構造物を設計していくことが求められることとなったが，その背景と概要について述べなさい。

【港 湾】

防波堤や岸壁などの港湾構造物を建設する際、基礎地盤が軟弱な場合、弱い地盤を原位置で改良し、その強度を増加させる地盤改良工法があるが、その中の「サンドコンパクションパイル工法」と「深層混合処理工法」について、それぞれ概要を述べなさい。

また、本県は、南北600 k mに及ぶ広大な県土にわたって26の有人離島が点在し、海に囲まれ地形も一般に急峻であり、更に台風常襲地帯でかつ冬期の季節風の影響を強く受け、災害を受けやすい環境下におかれている。

本県にある131港の港湾のうち86港が離島・奄美地域に設置されている。

そこで、本県の離島における港湾の役割について述べなさい。